(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2004-236790
(P2004-236790A)
(43)公開日　平成16年8月26日(2004.8.26)

(51)Int.Cl.[7]	F I		テーマコード（参考）
B26B 13/00	B26B 13/00	A	3C065
B26B 13/14	B26B 13/14		
B26B 13/24	B26B 13/24		

審査請求 未請求　請求項の数 4　ＯＬ　（全 7 頁）

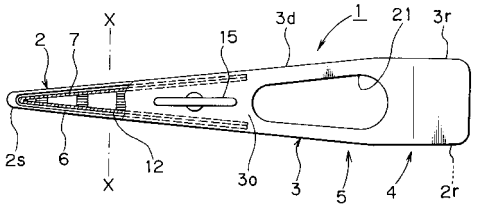
(21)出願番号　特願2003-27972(P2003-27972)
(22)出願日　平成15年2月5日(2003.2.5)

(71)出願人　503049391
伊澤　秀友
長野県長野市大字長野西町１０４０－１
(71)出願人　503049438
伊澤　健一
東京都大田区蒲田一丁目２８－１
(74)代理人　100088579
弁理士　下田　茂
(72)発明者　伊澤　秀友
長野県長野市大字長野西町１０４０－１
(72)発明者　伊澤　健一
東京都大田区蒲田一丁目２８－１

Ｆターム(参考)　3C065 AA07　BA04　FA02　GA04

(54)【発明の名称】ヘアカッター

(57)【要約】
【課題】髪の毛にＶカット部を形成するに際し、きわめて容易かつ速やかにカットできるようにし、また、均一性のある品位の高い髪形を得るとともに、安全性を高める。
【解決手段】髪の毛Ｈをカットするためのヘアカッター１を構成するに際して、対向する一対のベースプレート部２，３の一端２ｒ，３ｒ同士を一体化することによりヒンジ部４として機能させ、かつ各他端２ｓ，３ｓを相互に所定幅だけ離間させて、カッター本体５を構成するとともに、各ベースプレート部２，３の他端２ｓ，３ｓ側における相対向する内面２ｉ，３ｉに、髪の毛ＨにＶカット部Ｈｃ…を形成する一対のＶ形刃部６，７を設ける。
【選択図】図１



【特許請求の範囲】
【請求項１】
髪の毛をカットするためのヘアカッターにおいて、対向する一対のベースプレート部の一端同士を一体化することによりヒンジ部として機能させ、かつ各他端を相互に所定幅だけ離間させて、カッター本体を構成するとともに、各ベースプレート部の他端側における相対向する内面に、髪の毛にＶカット部を形成する一対のＶ形刃部を設けたことを特徴とするヘアカッター。
【請求項２】
少なくとも一方のベースプレート部には、弾性板を用いることを特徴とする請求項１記載のヘアカッター。
【請求項３】
少なくとも一方のベースプレート部の内面には、櫛部を備えることを特徴とする請求項１又は２記載のヘアカッター。
【請求項４】
少なくとも一方のベースプレート部の外面には、指を掛けることができる指掛用リングを備えることを特徴とする請求項１，２又は３記載のヘアカッター。
【発明の詳細な説明】
【０００１】
【発明の属する技術分野】
本発明は、理美容室等において髪の毛にＶカット部を形成する際に用いて好適なヘアカッターに関する。
【０００２】
【従来の技術】
従来、理美容室で用いるヘアカッターとしては、実開平１－１５３１８３号公報で開示される「理髪鋏」や実開昭６２－７６９６９号公報で開示される「すき鋏」等が知られている。
【特許文献１】
実開平１－１５３１８３号公報
【特許文献２】
実開昭６２－７６９６９号公報
【０００３】
【発明が解決しようとする課題】
しかし、上述した理髪鋏やすき鋏で代表されるヘアカッターをはじめ、従来のヘアカッターは、一対の鋏片を軸部を介して回動自在に結合し、軸部に対して先端側に位置する鋏片を直線刃部として形成するとともに、軸部に対して後端側に位置する鋏片を指掛用リングを有するグリップとして形成していたため、次のような不具合があった。
【０００４】
即ち、髪形の場合、その時代によって様々な髪形が流行するが、図６に示すような髪の毛Ｈの先端に多数のＶカット部Ｈｃ…（ジグザグ調カット，シャギー調カット等）を形成する場合、従来、美容師は、同図に示すように、顧客の髪の毛Ｈを一方の手Ａで持ち上げるとともに、他方の手で理髪鋏を持ち、この理髪鋏で髪の毛Ｈの先端をカットすることにより、多数のＶカット部Ｈｃ…を形成していた。したがって、Ｖカット部Ｈｃをカットする度に手の角度（向き）を変える必要があるなど、カット技術が要求され、カットが面倒で時間がかかるとともに、各Ｖカット部Ｈｃ…における形状的な均一性、さらには品位の高い髪形を得にくく、しかも手指を傷めやすいなど、安全性の面からも難点があった。
【０００５】
本発明は、このような従来の技術に存在する課題を解決したものであり、特に、髪の毛にＶカット部を形成するに際し、きわめて容易かつ速やかにカットできるとともに、均一性のある品位の高い髪形を得ることができ、しかも、安全性に優れたヘアカッターの提供を目的とする。

【０００６】
【課題を解決するための手段及び実施の形態】
本発明は、髪の毛Ｈをカットするためのヘアカッター１を構成するに際して、対向する一対のベースプレート部２，３の一端２ｒ，３ｒ同士を一体化することによりヒンジ部４として機能させ、かつ各他端２ｓ，３ｓを相互に所定幅だけ離間させて、カッター本体５を構成するとともに、各ベースプレート部２，３の他端２ｓ，３ｓ側における相対向する内面２ｉ，３ｉに、髪の毛ＨにＶカット部Ｈｃ…を形成する一対のＶ形刃部６，７を設けたことを特徴とする。
【０００７】
この場合、好適な実施の形態により、少なくとも一方のベースプレート部２，３には、弾性板２ｄ，３ｄを用いることができる。また、少なくとも一方のベースプレート部２，３の内面２ｉ，３ｉには、櫛部１２，１３を設けることができるとともに、少なくとも一方のベースプレート部３の外面３ｏには、指を掛けることができる指掛用リング１５を設けることができる。
【０００８】
【実施例】
次に、本発明に係る好適な実施例を挙げ、図面に基づき詳細に説明する。
【０００９】
まず、本実施例に係るヘアカッター１の構成について、図１～図５を参照して説明する。
【００１０】
ヘアカッター１は、カッター本体５を備える。このカッター本体５は、相対向する一対のベースプレート部２，３を備え、このベースプレート部２，３の一端２ｒ，３ｒ同士は、溶接等により接合して一体化するとともに、各他端２ｓ，３ｓは、相互に所定幅だけ離間させて自由端とする。これにより、カッター本体５の一端側は、ヒンジ部４として機能させる。各ベースプレート部２，３は、ステンレス素材（バネステンレス素材）等を用いたプレート材を打抜いて形成できる。この場合、少なくとも一方のベースプレート部３は、弾性板３ｄとして機能させる。これにより、カッター本体５は、少なくともベースプレート部３の他端３ｓを、ベースプレート部２の他端２ｓに対して弾性変位させることができる。このような構成により、一般の理髪鋏における軸部等が不要になるため、製造の容易化及び低コスト化を図ることができる。また、各ベースプレート部２，３の全体形状は、図１に示すように、細長に形成するとともに、特に、他端２ｓ，３ｓ側は、先端が尖形となるＶ形に形成する。さらに、必要に応じて、ベースプレート部２，３の一方又は他方には、開孔部２１を形成する。この開孔部２１は、カットした髪の毛Ｈの排出及びベースプレート部３（２）における弾性度合の調整に利用できるとともに、軽量化にも寄与できる。
【００１１】
一方、各ベースプレート部２，３の他端２ｓ，３ｓ側における相対向する内面２ｉ，３ｉには、髪の毛ＨにＶカット部Ｈｃ…を形成する一対のＶ形刃部６，７を設ける。一方のＶ形刃部６は、図５に示すように、一本の刃材６ｍにおける略中央を折曲して全体をＶ形に形成する。そして、ベースプレート部２の内面２ｉに、Ｖ形刃部６が嵌合するＶ形の取付溝２２を形成し、この取付溝２２に、Ｖ形刃部６を溶接或いは接着剤等により固着する。これにより、Ｖ形刃部６は、ベースプレート部２の内面２ｉに、正確に位置決めされた状態で固定される。この場合、Ｖ形刃部６は、替刃に対応できるように、ベースプレート部２に対してネジ止め等により着脱式（交換式）に取付けてもよい。なお、ベースプレート部３側も同様に構成する。図中、３ｉはベースプレート部３の内面、７はＶ形刃部、２３はベースプレート部３の取付溝をそれぞれ示す。このように、ベースプレート部２側と３側の基本的な構成は同じとなるが、Ｖ形刃部６と７は、髪の毛ＨをＶ形にカットする機能を有するため、図３及び図４に示すように、一方のＶ形刃部６は、他方のＶ形刃部７に対して一回り大きく形成する。即ち、Ｖ形刃部７をＶ形刃部６側へ変位させた際に、Ｖ形刃部６の内面にＶ形刃部７の外面が接触又は近接するように位置関係を設定し、Ｖ形刃部６

と７の交差時においてＶ形刃部６と７間に挟んだ髪の毛Ｈをｖ形にカットできるようにする。

【００１２】

さらに、ベースプレート部２，３の内面２ｉ，３ｉにそれぞれ固定する櫛部１２，１３を用意する。一方の櫛部１２は、図５に示すように、Ｖ形刃部６の内側に収容可能な形状を有する台板部１２ｂと、この台板部１２ｂの一方の面から傾斜突出し、かつ台板部１２ｂの長手方向に所定間隔おきに配した複数（実施例は四つ）の櫛片部１２ｐ…により一体形成する。そして、この櫛部１２は、Ｖ形刃部６の内側におけるベースプレート部２の内面２ｉに接着剤等により固定する。他方の櫛部１３も基本的には櫛部１２と同様に構成し、ベースプレート部３の内面３ｉに固定することができる。櫛部１３における１３ｂは台板部、１３ｐ…は複数（実施例は三つ）の櫛片部をそれぞれ示す。なお、櫛部１２と１３は、図４に示すように、直接衝突しないように、その位置関係を考慮する。

【００１３】

また、ベースプレート部３の外面３ｏには、図１及び図２に示すように、指を掛けることができる指掛用リング１５を固定する。実施例はベースプレート部３のみに指掛用リング１５を設けた場合を示したが、同様の指掛用リングをベースプレート部２側に設けてもよい。

【００１４】

次に、本実施例に係るヘアカッター１の使用方法について、図６を参照して説明する。

【００１５】

ヘアカッター１は、いわば爪切りと同様の感覚で使用することができる。即ち、図６に示すように、美容師は、顧客の髪の毛Ｈを、一方の手Ａにおける人差指と中指で挟み、持ち上げることにより髪の毛Ｈが面状になるように保持する。一方、他方の手でヘアカッター１を持ち、そのまま爪切りと同様の感覚で髪の毛Ｈの先端をカットすればよい。

【００１６】

この際、ベースプレート部２，３の外面３ｏ…は、他方の手の指で加圧又は加圧解除されるため、ベースプレート部３は、図４に示すようにベースプレート部２に対して、矢印Ｆ方向に弾性変位する。この結果、同図に実線で示すように、Ｖ形刃部６と７の交差時に、Ｖ形刃部６と７間に挟まれた髪の毛Ｈがカットされる。この際、Ｖ形刃部６と７は、Ｖ形形状のため、髪の毛Ｈの先端にＶカット部Ｈｃ…を形成することができる。なお、ベースプレート部２，３の加圧時には、Ｖ形刃部７の後部がベースプレート部２の内面２ｉに当たるため、この位置でＶ形刃部７（Ｖ形刃部６）の前進が規制される。

【００１７】

よって、このようなヘアカッター１を用いれば、髪の毛Ｈの先端に、きわめて容易かつ速やかに多数のＶカット部Ｈｃ…をカット（形成）できるとともに、手指を刺したり切ったりする虞れが少なくなり高い安全性を確保できる。また、従来の理髪鋏によりカットする場合に比べ、均一性のある品位の高い髪形を得ることができるとともに、斬新でソフト感のある髪形を容易につくりだすことができる。しかも、カットする際には、Ｖ形刃部６と７の内方に備える櫛部１２，１３により、髪の毛Ｈが保持されるため、髪の毛Ｈを安定した状態でより綺麗にカットすることができるとともに、特に、ウェーブの付いた髪の毛は、櫛部１２，１３により梳かしながら毛先を引っ張り、直毛に近い状態にしてカットできるため、髪の毛の中間部をカットしてしまう不具合を回避できる。さらに、指掛用リング１５に指を掛けて使用できるため、ヘアカッター１の取扱いが容易となり、操作性及び利便性をより高めることができる。

【００１８】

以上、実施例について詳細に説明したが、本発明はこのような実施例に限定されるものではなく、細部の構成，形状，素材，数量等において、本発明の要旨を逸脱しない範囲で任意に変更，追加，削除することができる。

【００１９】

例えば、実施例は、ベースプレート部２，３とＶ形刃部６，７をそれぞれ別体に形成した

場合を示したが、図７に示すように、ベースプレート部２とＶ形刃部６或いはベースプレート部３とＶ形刃部７をそれぞれ一体形成してもよい。また、実施例は、ヒンジ部４として、ベースプレート部２，３における他端２ｒと３ｒを直接固着した場合を示したが、その他、図８に示すように、他端２ｒと３ｒ間に結合部材３１を介在させる構成、一枚のプレート材をＵ形に湾曲させてカッター本体とし、この湾曲部分をヒンジ部４として機能させる構成、ベースプレート部２，３の他端２ｒと３ｒを軸部を介して回動自在に結合し、ベースプレート部２と３間にスプリングを介在させる構成等を採用できる。さらに、図８に示すように、ベースプレート部２，３の双方を弾性板２ｄ，３ｄにより構成してもよい。なお、本発明における「Ｖ形」とは、アルファベットのＶ字形に限定されるものではなく、Ｕ形，Ｗ形等の各種の同種形状を含む概念である。

【００２０】

【発明の効果】

このように、本発明に係るヘアカッターは、対向する一対のベースプレート部の一端同士を一体化することによりヒンジ部として機能させ、かつ各他端を相互に所定幅だけ離間させて、カッター本体を構成するとともに、各ベースプレート部の他端側における相対向する内面に、髪の毛にＶカット部を形成する一対のＶ形刃部を設けたため、次のような顕著な効果を奏する。

【００２１】

（１）　髪の毛にＶカット部を形成するに際し、きわめて容易かつ速やかにカットできるとともに、手指を刺したり切ったりする虞れが少ないなど安全性に優れる。

【００２２】

（２）　均一性のある品位の高い髪形を得ることができるとともに、斬新でソフト感のある髪形を容易につくりだすことができる。

【００２３】

（３）　好適な実施の形態により、ベースプレート部に弾性板を用いれば、軸部等が不要となり、製造の容易化及び低コスト化を図ることができる。

【００２４】

（４）　好適な実施の形態により、ベースプレート部の内面に櫛部を設ければ、ヘアカッターの内側で髪の毛を保持できるため、髪の毛を安定した状態でより綺麗にカットすることができるとともに、特に、ウェーブの付いた髪の毛は、櫛部により梳かしながら毛先を引っ張り、直毛に近い状態にしてカットできるため、髪の毛の中間部をカットしてしまう不具合を回避できる。

【００２５】

（５）　好適な実施の形態により、ベースプレート部の外面に指を掛けることができる指掛用リングを設ければ、ヘアカッターの取扱いが容易となり、操作性及び利便性をより高めることができる。

【図面の簡単な説明】

【図１】本発明の好適な実施例に係るヘアカッターの一部断面平面図、

【図２】同ヘアカッターの側面図、

【図３】図１中Ｘ－Ｘ線位置の断面図、

【図４】同ヘアカッターの断面側面を用いた作用説明図、

【図５】同ヘアカッターの一部を示す分解斜視図、

【図６】同ヘアカッターの使用説明図、

【図７】本発明の変更実施例に係るヘアカッターの断面正面図、

【図８】本発明の他の変更実施例に係るヘアカッターの一部側面図、

【符号の説明】

１　　ヘアカッター

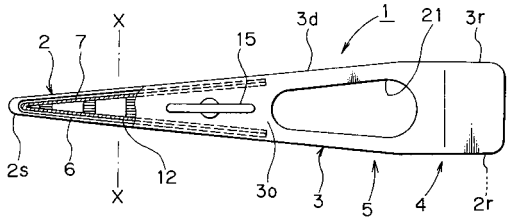
２　　ベースプレート部

２ｒ　ベースプレート部の一端

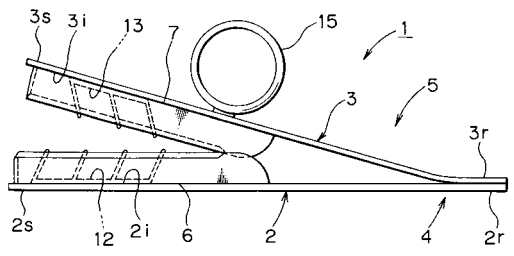
２ｓ　ベースプレート部の他端

２ｉ　ベースプレート部の内面
２ｄ　弾性板
３　ベースプレート部
３ｒ　ベースプレート部の一端
３ｓ　ベースプレート部の他端
３ｉ　ベースプレート部の内面
３ｄ　弾性板
３ｏ　ベースプレート部の外面
４　ヒンジ部
５　カッター本体
６　Ｖ形刃部
７　Ｖ形刃部
１２　櫛部
１３　櫛部
１５　指掛用リング
Ｈ　髪の毛
Ｈｃ　Ｖカット部

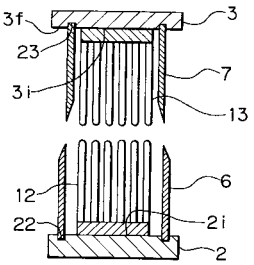
【図１】



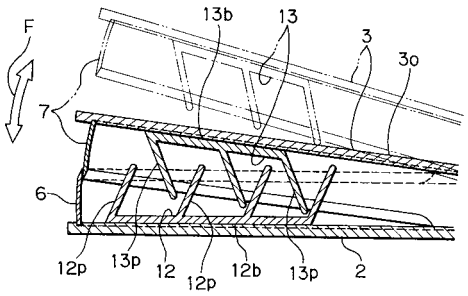
【図２】



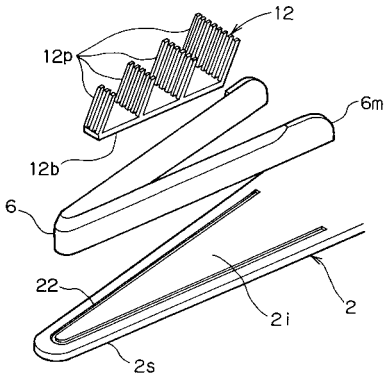
【図３】



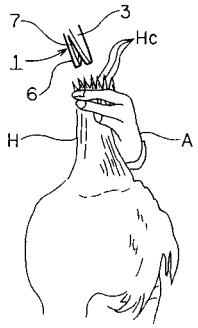
【図４】



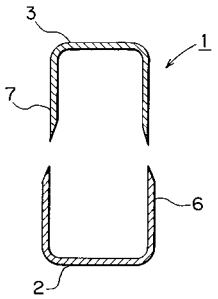
【図５】



【図６】



【図７】



【図８】

